Ⅳ 令和7年度(2025年) 研究発表業績

１　論文・報告書等

（１）森林資源の循環利用による林業及び木材産業の健全な発展

炭素吸収量･貯蔵量の確保に向けた森林の整備と道産木材の利用促進のための研究開発

1　津田高明　2025 年 9 月　クリーンラーチへの植え替えでカラマツ人工林の炭素吸収量はどのくらい上がるのか？　光珠内季報　216.
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html

2　津田高明　2026 年 3 月　炭素吸収量増加を目指した森づくり　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　4p.　https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf

森林資源の適切な管理とスマート林業による
森林施業や生産･流通の効率化のための研究開発

3　Yonezawa M,　Seki K,　Tsuda M,　Ishizuka W　2025 年 4 月　α-Pinene concentrations in bark tissue affect intra-specific variation in the susceptibility to vole gnawing of Japanese larch　Canadian Journal of Forest Research　55:：1-10.　https://doi.org/10.1139/cjfr-2025-0074

4　Yonezawa M,　Ishizuka W,　Seki K,　Tsuda M　2025 年 4 月　Data for: α-Pinene concentrations in bark tissue affect intra-specific variation in the susceptibility to vole damage of *Larix kaempferi* Zenodo.　https://doi.org/10.5281/zenodo.15575071

5　明石信廣　2025 年 5 月　北海道の人工林におけるシカ被害と対策　森林技術　997：16-19.

6　明石信廣　2025 年 5 月　エゾシカの影響によって変化する北海道の森林　地球環境　30：105-111.
https://doi.org/10.57466/chikyukankyo.30.1_105

7　北海道立総合研究機構林業試験場保護種苗部保護グループ　2025 年 5 月　ナラ枯れ被害木処理の手引－効果的で適切な処理をするために－　29pp.
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/bookshow/narakaretebiki.html

8　明石信廣　2025 年 6 月　衛星画像による林況把握方法：オープンソース GIS ソフトによる『教師なし分類』の作業手順（改訂版）　28pp.
https://www.hro.or.jp/upload/53968/衛星画像による林況把握方法（改訂版）-(2).pdf

9　明石信廣・南野一博・舟生憲幸　2025 年 7 月　後志地方におけるクマイザサの一斉開花と幼齢カラマツ類造林地における野ネズミ被害　北海道林業試験場研究報告　62(2)：39－47.
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kenpo61/kenpo62.html

10　中川昌彦・宮田理恵・石塚航・来田和人・今博計　2025 年 7 月　さし木苗と実生苗を用いたグイマツ雑種 F_1 低密度植栽実証林の 20 年生までの成長と生残　北海道林業試験場研究報告　62(2)：49-64.　https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kenpo61/kenpo62.html

11　中川昌彦・喜綿真一・有馬聡一・伏見愛雄　2025 年 7 月　上木皆伐後におけるトドマツ前生稚樹の初期生残と成長－傘型樹型ではない前生稚樹が多い林分で 7 月に皆伐した場合－　森林計画学会誌　59：19-23.　https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjfp/59/1/59_A20250501/_pdf/-char/ja

12　和田尚之・石塚航・竹内史郎・内田葉子・斎藤秀之・徳田佐和子　2025 年 8 月　カラマツ及びグイマツ雑種 F_1 でのならたけ病被害に与える局所地形の影響評価　日本森林学会誌　107：169-178.
https://doi.org/10.4005/jjfs.107.169

13　和田尚之・内田葉子　2025 年９月　2024 年に北海道で発生した森林病害虫　光珠内季報　216.
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html
14　明石信廣　2025 年９月　エゾシカによる人工林への影響と対策　森林生態系の保全管理（上田裕文・梶光一・宮本敏澄・小池孝良編）共立出版 東京　84-86.
15　石塚航　2025 年９月　北海道東部地域における優良なトドマツの前方選抜の取り組み　北海道の林木育種　68（1）：8-13.
16　石塚航・津山幾太郎　2025 年 10 月　これからの育種へトドマツの適応的変異をいかに組み込むか　森林遺伝育種　14（4）：127-133.　https://doi.org/10.32135/fgtb.14.4_127
17　明石信廣　2025 年 12 月　オープンソースソフトウェアを用いた衛星画像の教師なし分類による林況把握　光珠内季報　217.
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html
18　南野一博・時田勝広　2025 年 12 月　道南地域で多発した野ネズミの目撃とブナの大豊作　森林保護　363：9-11.
19　Wada H,　Tokuda S,　Uchida Y,　Oi N,　Unno A　2026 年１月　Armillaria gallica isolated from Quercus crispula attacked by Platypus quercivorus in Hokkaido, Japan　Journal of Forest Research　31：11-15.　https://doi.org/10.1080/13416979.2025.2586834
20　石塚航・米澤美咲　2026 年１月　抵抗性育種への LiDAR と GC 分析の活用―カラマツの野鼠害を対象に―　森林遺伝育種　15（1）：19-23.　https://doi.org/10.32135/fgtb.15.1_19
21　Tsuda T,　Sakai S　2026 年２月　Regional differences in log transport distances at the municipal level based on tree species and intended use in Hokkaido, Japan　Journal of Forest Research　1-14.　https://doi.org/10.1080/13416979.2026.2629642
22　中川昌彦　2026 年２月　上木皆伐後にトドマツ前生稚樹が赤褐色に変色せずに成長　グリーントピックス　72.　https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/topicsr01.html
23　時田勝広・渡辺展之・明石信廣　2026 年２月　多地点データの分析に基づくエゾシカの稚樹採食における樹種差および地域差　日本森林学会誌　108：35-42.
https://doi.org/10.4005/jjfs.108.35
24　明石信廣　2026 年２月　北海道におけるクマイザサの 2023 年一斉開花後の開花状況と野ネズミ類の反応　北方森林研究　74：59-62.　https://doi.org/10.24494/jfsh.74.0_59
25　和田尚之・小林卓也・森谷佳晃・石水樹雄・小林春毅　2026 年２月　上空からのナラ枯れ探査における誤認事例　北方森林研究　74：63-66.　https://doi.org/10.24494/jfsh.74.0_63
26　今博計　2026 年２月　樹木種子の豊凶　北方林業　77：43-46.
27　成田あゆ・棚橋生子　2026 年２月　苗畑除草剤実用試験　令和７年度受託研究報告書　68pp.
28　石塚航・米澤美咲　2026 年２月　LiDAR が明らかにするカラマツ次代検定林における野鼠害の系統間差　北海道の林木育種　68（2）：26-30.
29　Abe T,　Iwasaki K　2026 年２月　Enhanced influence of soil type on cumulative wind damage risk: insights from tree-pulling experiments in Japanese larch forests of Hokkaido, Japan　Forestry: An International Journal of Forest Research　99(1).
https://doi.org/10.1093/forestry/cpaf091
30　内田葉子　2026 年２月　北海道で発生したナラ枯れ被害　北方林業　77(1)：9-12.
31　内田葉子・和田尚之　2026 年３月　2025 年に北海道で発生した森林病害虫　光珠内季報　218.
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html
32　石塚航　2026 年３月　産地標高の異なる接ぎ木トドマツの若齢時の着花実態と外部刺激の効果検証　北海道林業試験場研究報告　63：1-11.
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kenpo61.html

33　時田勝広・南野一博・明石信廣　2026 年３月　北海道下川町のカラマツおよびクリーンラーチの比較試験地におけるエゾユキウサギによる主軸切断被害　北方森林研究　74：55-58.
https://doi.org/10.24494/jfsh.74.0_55
34　林業試験場保護種苗部育種育苗グループ　2026 年３月　特定の針葉樹の効率的な増殖技術の検討　令和７年度共同研究報告書　11pp.
35　蝦名益仁　2026 年３月　多時期衛星画像による針葉樹人工林内の林相分類技術の開発　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　5p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf
36　内山和子　2026 年３月　シラカンバ人工林の樹高成長予測手法の開発　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　6p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf
37　大野泰之　2026 年３月　カラマツ類に対応した初期施業モデルの開発　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　7p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf
38　津田高明　2026 年３月　市町村で使える人工林の資源予測ツールの開発　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　8p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf
39　竹内史郎　2026 年３月　UAV 及び AI 技術による森林資源量把握技術　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　9p.　https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf
40　渡辺一郎　2026 年３月　ハーベスタ（伐木造材機械）に寄る丸太測定技術の精度検証　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　10p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf
41　南野一博　2026 年３月　野ネズミ被害軽減に向けた取り組み　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　11p.　https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf
42　和田尚之　2026 年３月　カラマツ類のならたけ病が発生しやすい環境の評価　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　12p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf
43　雲野明　2026 年３月　北海道で発生したナラ枯れに対する初期防除体制の構築　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　13p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf
44　今博計　2026 年３月　クリーンラーチ挿し木苗の増産技術の開発　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　14p.　https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf
45　石塚航　2026 年３月　遺伝情報を活用したカラマツ類の材の強度的性質の評価　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　15p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf
46　成田あゆ　2026 年３月　トドマツコンテナ苗の育成期間の短縮化技術の開発　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　16p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf
47　阿部友幸　2026 年３月　カラマツ・トドマツ人工林の風倒害リスク管理技術の構築　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　17p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf

（２）森林の多面的機能の持続的な発揮

森林の多面的機能の持続的な発揮と有用樹木･特用林産物の活用のための研究開発

48 Yamaura Y, Schmaljohann H, Unno A, Kawamura K, Kitazawa M, Sato S, Okahisa Y, Senzaki M　2025 年 5 月　Loop vs. same route migrations of two songbird species between Japan and Southeast Asia　Journal of Ornithology　167：71-83. https://doi.org/10.1007/s10336-025-02297-x

49 Akashi N, Unno A, Nagasaka A, Nagasaka Y, Yamanaka S, Yamaura Y, Ozaki K　2025 年 6 月　Mortality of retention trees due to blowdown damage in a retention forestry experiment in Hokkaido, northern Japan.　Forest Ecology and Management　586：122697. https://doi.org/10.1016/j.foreco.2025.122697

50 Tsunoda Y, Narita A, Kitamura K, Gisusi S　2025 年 6 月　The cumulative effects of precipitation determine the occurrence of *Tricholoma matsutake* fruiting bodies　Fungal Ecology　75.　https://doi.org/10.1016/j.funeco.2025.101415

51 明石信廣・雲野明　2025 年 6 月　保持木の生残　実証実験・保持林業　広葉樹を残して生き物を守る（山浦悠一・山中聡編）　築地書館 東京　57-66.

52 明石信廣　2025 年 6 月　下層植生　実証実験・保持林業　広葉樹を残して生き物を守る（山浦悠一・山中聡編）　築地書館 東京　67-77.

53 雲野明　2025 年 6 月　ボツンと残された孤立木で営巣するクマゲラ　実証実験・保持林業　広葉樹を残して生き物を守る（山浦悠一・山中聡編）　築地書館 東京　132-135.

54 山浦悠一・雲野明　2025 年 6 月　鳥類　実証実験・保持林業　広葉樹を残して生き物を守る（山浦悠一・山中聡編）　築地書館 東京　115-131.

55 明石信廣　2025 年 8 月　保持林業の効果と課題：実証実験 10 年間の成果から　令和６年度北の国・森林づくり技術交流発表集　105-110.

56 Nakata Y, Hayamizu M, Ishiyama N　2025 年 9 月　Spatiotemporal Monitoring of Large Woody Debris Mobility and Distribution Using Unmanned Aerial Vehicles Along the Oshirarika River, Northern Japan　Drones　9(9)：655-655. https://doi.org/10.3390/drones9090655

57 速水将人・橋本朝陽・阿部友幸・脇田陽一・宮田理恵　2025 年 9 月　北海道桧山管内 江差町で栽培されるヒバ（ヒノキアスナロ）普及の取り組み　グリーントピックス　71. https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/topicsr01.html

58 明石信廣・雲野明　2025 年 9 月　枯れやすい保持木、枯れにくい保持木 保持林業の実証実験における保持木の生残　グリーントピックス　71. https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/topicsr01.html

59 速水将人・橋本朝陽・脇田陽一　2025 年 9 月　防風林管理と生物多様性保全機能の普及を目的とした体験プログラム ― 樹木の香水づくりと植物標本づくり体験の組み合わせ ―　グリーントピックス　71.　https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/topicsr01.html

60 中濱直之・大脇淳・速水将人　2025 年 10 月　日本の訪花昆虫における多様性の保全手法とその効果　保全生態学研究　30(2)：161-174.　https://doi.org/10.18960/hozen.2424

61 Yamaura Y, Shoji Y, Schmaljohann H, Unno A, Yao RT, Yong DL, Kawamura K, Kitazawa M, Sato S, Aoki D, Okahisa Y, Takahashi M, Toma T, Sato M, Senzaki M, Soga M　2025 年 11 月　Drivers of Willingness to Pay for Conservation in Southeast Asia: Nature Relatedness Over Visual Cues Among Japanese People　Animal Conservation　28：832-843.　https://doi.org/10.1111/acv.70013

62　猿館聡太郎・雲野明・松井晋　2025 年 11 月　クマゲラの冬期における生立木の採餌木選択と採餌場適地推定　日本鳥学会誌　74：223-241.　https://doi.org/10.3838/jjo.74.223

63　錦織正智　2025 年 12 月　近代からはじまる北海道と和紙産地の絆 その 2 北海道における大正時代のノリウツギ事情　光珠内季報　217.
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html

64　Ohwaki A, Hayamizu M, Sakakibara M, Nakahama N　2026 年 1 月　Clearcut areas aged 2-6 years in shelterbelts support high diversity of butterflies and flowering plants, including endangered grassland butterflies, in the Tokachi District of Hokkaido, northern Japan　Eur. J. Entomol.　123：1-12.　https://doi.org/10.14411/eje.2026.001

65　橋本朝陽・玉田祐介　2026 年 2 月　いつでもどこでも森林体験！-スマホや VR ゴーグルで森を探索　グリーントピックス　72.
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/topicsr01.html

66　長坂晶子　2026 年 3 月　水資源情報の「見える化」による水源探索の効率化　公立林業試験研究機関研究成果集(令和 7 年度)　23.

67　明石信廣　2026 年 3 月　生物多様性と木材生産の両立を目指す保持林業の効果と課題　第 59 回森林・林業技術シンポジウム講演集「生物多様性を高める森林づくり」　7-12.

68　雲野明・藤巻裕蔵　2026 年 3 月　クマゲラ　第 5 次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物　鳥類　748-752.

69　速水将人・蓮井聡　2026 年 3 月　北海道胆振東部地震の被災地における森林再生に向けた取り組み　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　18p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf

70　速水将人　2026 年 3 月　防風林の減風効果維持と生物多様性保全の両立が可能な管理方法　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　19p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf

71　長坂晶子・雲野明　2026 年 3 月　保持林業の実証実験－12 年間の成果－　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　20p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf

72　長坂晶子　2026 年 3 月　農山村地域の水道インフラに貢献する森林の水　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　21p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf

73　長坂晶子　2026 年 3 月　気候変動による渓流生物への影響予測とその対応策　道総研森林研究本部研究成果選集 2020-2024　22p.
https://www.hro.or.jp/upload/56861/04-01-sensyu2020seika-rinshi.pdf

２　学会における口頭・ポスター発表等

（１）森林資源の循環利用による林業及び木材産業の健全な発展

炭素吸収量･貯蔵量の確保に向けた森林の整備と道産木材の利用促進のための研究開発

74　津田高明・滝谷美香・石塚航　2025 年５月　変動する将来の気候条件を踏まえたトドマツとカラマツ類人工林における炭素吸収量の増加効果　北海道森づくり研究成果発表会
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html

75　滝谷美香・津田高明・大野泰之・石塚航・津山幾太郎　2025 年５月　変動する将来の気候条件を踏まえたカラマツとクリーンラーチの地位指数の予測　北海道森づくり研究成果発表会
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html

76　津田高明・滝谷美香・石塚航・津山幾太郎　2025 年 12 月　トドマツ及びカラマツ人工林の種苗入れ替えがもたらす炭素吸収効果：気候シナリオを踏まえた長期予測　北海道気候変動影響研究シンポジウム 2025

森林資源の適切な管理とスマート林業による森林施業や生産･流通の効率化のための研究開発

77　阿部寛史・佐々木廣海・奈良一秀　2025 年５月　日本産ショウロ属の分類学的研究　日本菌学会第 69 回大会

78　角田悠生　2025 年５月　植栽木周辺の雑草木がトドマツおよびカラマツ類の生残と成長に与える影響：２シーズンの結果　北海道森づくり研究成果発表会
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html

79　大野泰之・蝦名益仁　2025 年５月　トドマツ人工林における広葉樹の生育実態　北海道森づくり研究成果発表会
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html

80　今博計　2025 年５月　グイマツ雑種 F_1 実生苗と挿し木苗の若齢期における成長比較　北海道森づくり研究成果発表会
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html

81　石塚航・後藤晋　2025 年５月　変動する将来の気候条件を踏まえたトドマツ苗木の産地選択のあり方を考える　北海道森づくり研究成果発表会
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html

82　大井和佐・和田尚之・内田葉子・雲野明・徳田佐和子・上田明良・小林卓也・尾崎研一　2025 年５月　ナラ枯れ被害木の伐倒くん蒸処理　北海道森づくり研究成果発表会
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html

83　南野一博　2025 年５月　殺そ剤を使わない新たな野ネズミの防除対策の検討－誘引餌の効果と捕殺器の設置方法について－　北海道森づくり研究成果発表会
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html

84　長坂晶子・荒田洋平　2025 年５月　トドマツ人工林では主伐時にどのくらい樹木を残すと水質への影響を緩和できるか　北海道森づくり研究成果発表会
https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html

85　明石信廣・南野一博　2025 年８月　北海道後志地方におけるクマイザサの一斉開花と幼齢カラマツ類造林地における野ネズミ被害　日本哺乳類学会 2025 年度大会

86　南野一博・時田勝広　2025 年 8 月　A24 Trap によるエゾヤチネズミの捕殺効果の検証　日本哺乳類学会 2025 年度大会

87　竹内史郎　2025 年 11 月　新しい測位技術(CLAS)を用いた計測機械による森林資源の実演会　森づくりセミナー

88　森脇育吹・滝谷美香・大野泰之・安江恒・沈昱東　2025 年 11 月　北海道の南限地域に生育するアカエゾマツの気候応答解析　樹木年輪研究会

89　津田高明・酒井明香・滝谷美香　2025 年 11 月　地形・道路・土地所有情報に基づく中間土場候補地の抽出　第 74 回北方森林学会大会

90　時田勝広・南野一博・明石信廣　2025 年 11 月　北海道下川町のカラマツおよびクリーンラーチの比較試験地におけるエゾユキウサギによる主軸切断被害　第 74 回北方森林学会大会

91　和田尚之・小林卓也・森谷佳晃・石水樹雄・小林春毅　2025 年 11 月　上空からのナラ枯れ探査における誤認事例　第 74 回北方森林学会大会

92　中川昌彦　2025 年 11 月　クリーンラーチのコンテナ挿し木苗で枝性が高い割合で出現した事例　第 74 回北方森林学会大会

93　高橋誠・宮田理恵・中島剛・丹羽花恵・更級彰史・相馬航輔・北野皓大・飯田玲奈・西川浩己・二本松裕太・茂木靖和・狩場晴也・小川享・松久保康輔・嘉本健吾・守下克彦・岸ノ上克浩・藤本浩平・鎌田政諒・小堀光輝・木村恵・生方正俊・井城泰一・坪村美代子・山野邉太郎・岩泉正和・久保田正裕・倉本哲嗣・田村明・栗田学　2025 年 11 月　ヒノキ・カラマツ等における採取時期による種子の発芽率の変化　第 14 回森林遺伝育種学会大会

94　笹田勇麻・石塚航・大崎久司・後藤晋　2025 年 11 月　日本に現存するテーダマツとスラッシュマツの材質と肥大成長　第 14 回森林遺伝育種学会大会

95　菅井徹人・諏訪竜之介・小林悠佳・石塚航・牧田直樹　2025 年 11 月　北方の常緑針葉樹苗木における春先の細根の機能と成長の動態　第 62 回根研究集会

96　野口麻穂子・蝦名益仁・中尾勝洋　2026 年 3 月　スギを植栽したのに広葉樹林になるのはどのような場所か―山形県北部の例―　第 137 回日本森林学会大会

97　角田悠生・竹内史郎　2026 年 3 月　３次元点群で林床光環境推定：広域的把握および上層疎開後の予想を目指して　第 137 回日本森林学会大会

98　蝦名益仁　2026 年 3 月　立地環境を用いた樹冠高の推定 ～十勝地域のカラマツ林を対象に　第 137 回日本森林学会大会

99　小笠原圭祐・滝谷美香・梅木清　2026 年 3 月　環境変動に対応した人工林の樹高成長時系列解析　第 137 回日本森林学会大会

100　森脇育吹・滝谷美香・大野泰之・安江恒・沈昱東・吉田俊也　2026 年 3 月　異なる気候下に成育するアカエゾマツの成長応答の比較　第 137 回日本森林学会大会

101　和田尚之　2026 年 3 月　北海道で広がるナラ枯れ―初期被害から見えてきたこと―　樹木病害研究会 2026

102　和田尚之・大井和佐　2026 年 3 月　枯損状況の異なるカラマツ類幼齢木における感染ナラタケ属菌の違い　第 137 回日本森林学会大会

103　阿部寛史・石塚航　2026 年 3 月　日本産ハナイグチのマイクロサテライトマーカー開発　第 137 回日本森林学会大会

104　長谷川美和・和田尚之・前田唯眞・宮本敏澄・成田あゆ・石塚航・斎藤秀之　2026 年 3 月　林分密度が異なる 20 年生グイマツ雑種 F1 人工林の資源制限と新陽の候合成　第 137 回日本森林学会大会

105　高橋誠・宮田理恵・中島剛・丹羽花恵・更級彰史・相馬航輔・北野皓大・飯田玲奈・西川浩己・二本松裕太・茂木靖和・狩場晴也・小川享・松久保康輔・嘉本健吾・守下克彦・岸ノ上克浩・藤本

浩平・鎌田政諒・小堀光輝・木村恵・生方正俊・井城泰一・坪村美代子・山野邉太郎・岩泉正和・久保田正裕・倉本哲嗣・田村明・栗田学　2026 年 3 月　ヒノキ・カラマツにおける 2024 年産種子の発芽特性　第 137 回日本森林学会大会

106　宮田理恵・石塚航・今博計　2026 年 3 月　クリーンラーチ苗木の優れた初期成長に寄与する樹形と光合成能力　第 137 回日本森林学会大会

107　Cai X, Shigenobu S, Yamaguchi K, Kasahara M, Fujino T, Ishizuka W, Uchiyama K, Hisamoto Y, Kitamura K, Goto S　2026 年 3 月　Haplotype-resolved chromosome-level genome assembly in *Abies sachalinensis*　第 137 回日本森林学会大会

108　石塚航・北村系子・後藤晋　2026 年 3 月　外部刺激と産地標高がトドマツの着花特性に及ぼす影響　第 137 回日本森林学会大会

109　中川昌彦　2026 年 3 月　クリーンラーチ 1 粒播種によって 1 年でコンテナ苗を育苗する技術　第 137 回日本森林学会大会

110　Hashimoto A, Kariyazono J,　Kumagai T, Onda Y, Gomi T, Chiu C-W　2026 年 5 月　Validation of UAV-LiDAR-Derived Effective Leaf Area Index (eLAI) in a Conifer Forest: Comparison with High-Density Litter-Trap Measurements　EGU General Assembly 2026

（２）森林の多面的機能の持続的な発揮

森林の多面的機能の持続的な発揮と有用樹木･特用林産物の活用のための研究開発

111　岩崎健太・長坂有・福島慶太郎・石山信雄・境優・長坂晶子　2025 年 5 月　熱赤外動画を用いた湧水マッピングと採水：山体スケールでの地下水流出の簡易な特徴把握　Mapping and sampling spring water using thermal video: a simple characterization of mountain scale groundwater discharge　日本惑星地球連合大会　〃

112　速水将人　2025 年 5 月　北海道の防風林管理が担う生物多様性保全と今後の課題　北海道森づくり研究成果発表会　https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/kanko/kihor00/kihor07.html

113　長坂晶子・石山信雄・荒田洋平・長坂有・牛島健　2025 年 7 月　北海道農村部における水道事業再構築のための水資源情報の可視化： 環境要因を用いた小河川の渇水流量予測　Visualization of water resource information for restructuring water supply services in rural areas of Hokkaido: Predicting drought flow in small rivers using environmental factors　The 2nd International Sociohydrology Conference in Tokyo　〃

114　山浦悠一・雲野明・河村和洋・先崎理之・佐藤重穂・大谷達也・Greg Conway　2025 年 8 月　北海道で繁殖するヨタカの渡りルート　日本鳥学会 2025 年大会

115　大久保晋治郎　2025 年 8 月　植生未回復斜面における凍上について　第 17 回胆振東部森林再生・林業復興連絡会議

116　荒田洋平・長坂晶子・長坂有　2025 年 9 月　森林流域における融雪出水応答と支流の役割：異なる時間スケールの視点から　水文・水資源学会

117　牛島健・長谷川祥樹・森野祐助・長坂晶子　2025 年 12 月　人口減少下における水道再編のタイミングの評価に関する一考察　第 62 回環境工学研究フォーラム

118　中島颯大・荒田洋平・長坂晶子・長坂有　2025 年 12 月　積雪期・融雪出水期の森林渓流における魚類環境 DNA の検出特性　第 8 回環境 DNA 学会山口大会

119　玉田祐介・橋本朝陽　2026 年 1 月　3D Gaussian Splatting を活用した VR 森林体験プログラムの構築及び実践　グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン 2026

120　大久保晋治郎　2026 年 3 月　植生未回復斜面における雨裂侵食について　第 18 回胆振東部森林再生・林業復興連絡会議

121　速水将人　2026 年 3 月　ネイチャーポジティブな防風林管理マニュアル普及実装への道のり　日本生態学会シンポジウム

122　荒田洋平・長坂晶子・長坂有・川合英之・速水将人・石山信雄　2026 年 3 月　ササ被覆率の違いが表層の細根径分布と飽和透水係数に及ぼす影響　第 137 回日本森林学会大会

123　橋本朝陽・大久保晋治郎・大平充・荒田洋平　2026 年 3 月　トレイルカメラ SfM による面状土壌侵食の高時間・空間分解能観測　第 137 回日本森林学会大会